

2024年度

ニチキッズ三軒茶屋保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月10日（水）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月21日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。
項目ごとの評価		
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の理念に則り、不適切保育の撲滅をかね、子どもたちの興味関心、気持ちを大事し確認し寄り添いながら、子どもの最善の利益を考え保育を行ってきた。	
子どもの発達援助	子ども達の日々の体調や機嫌、成長の様子を毎日のミーティングの中で共有し、全職員が今の子どもたちの様子や特性を踏まえて子どもたちと接することが出来てきた。	
保護者に対する支援	日々のノートのみならず、お迎えの際にその日の様子を伝えたり、一緒に成長を喜ぶことが出来た。可能な限りお迎えの時に担任が対応することにより、疑問や相談を受けることもできていたように感じる。	
保育を支える組織的基盤	多数の職員の入職があり、その職員の定着により、安定した職員体制になってきている。職員同士の連携がとられ、日々の保育や行事などに工夫が施されたり、新しいことにも取り組んでいこうとする雰囲気があった。	
総評		
不適切保育撲滅、子どもの最善の利益を考えながら、言葉かけや態度に細心の注意を払いながら保育を行ってきた。新年度に異動してきた職員や入職してきた職員が多く、わからないことが多い中、毎日のミーティングや会議を通し、情報共有やコミュニケーションを重要視してきた。そのようにして日々の保育や行事に取り組むことにより、職員同士の連携や一体感が生まれてきているように感じる。子どもたちにおいては、一人一人の好みや関心などを踏まえて様々な活動を行ってきた。また異年齢の保育を通して、より幅広い活動ができたと思う。これまでは、常勤職員のミーティングを行うことを意識して達成してきたので、今後は非常勤職員のミーティングなどにも力を入れて、園全体で保育に取り組んでいきたい。		